

指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	子ども家庭局子ども家庭部保育課
評価対象期間	平成28年4月1日～令和2年3月31日

1 指定概要

施設概要	名 称	北九州市立陣原保育所	施設類型	目的・機能
			I	— ⑦
	所 在 地	北九州市八幡西区陣原三丁目23番9号		
	設置目的	児童福祉法第39条に規定される保育所として、保育を必要とする乳児又は幼児を保育することを目的とする児童福祉施設である。		
利用料金制		<input checked="" type="checkbox"/> 非利用料金制 ・ <input type="checkbox"/> 一部利用料金制 ・ <input type="checkbox"/> 完全利用料金制		
		インセンティブ制	有・ <input type="checkbox"/> 無	ペナルティ制
指定管理者	名 称	社会福祉法人北九州市保育事業協会		
	所 在 地	北九州市八幡東区中央二丁目1番1号		
指定管理業務の内容		保育所の管理及び保育の実施。		
指定期間		平成28年4月1日～令和3年3月31日		

2 評価結果

評価項目及び評価のポイント		配点	評価 レベル	得点	
1	施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組み	50		43	
	(1) 施設の設置目的の達成				
	① 計画に則って施設の管理運営（指定管理業務）が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果を得られているか（目標を達成できたか）。				
	② 利用促進を目的としている施設の場合、施設の利用者の増加や利便性を高めるための取組みがなされ、その効果があったか。	35	4	28	
	③ 複数の施設を一括して管理する場合、施設間の有機的な連携が図られ、その効果が得られているか。				
	④ 施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。				
[評価の理由、要因・原因分析]					
① 指定管理業務の実施状況					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育方針が分かりやすく明示され、通常保育のほか子育て支援の取組みなど、計画に基づいた保育所運営が行われている。 ・ 障害児保育の実践にあたり、療育センター、ひまわり学園、子ども総合センター等の専門機関と連携を取ることで、障害児へのきめ細かな対応を行っている。また、園児が卒園した後も、小学校教諭と連携を図りながら、必要な情報の共有を行っている。 ・ 3歳以上児のカレークッキングやホットケーキパーティーなど、児童の年齢に応じた行事の内容を考えている。畑やプランターで食材を栽培し、調理して食べるなど、食育に関する取組みも継続して行っている。 ・ 地域の老人会の方々からの指導のもと、園庭の畑の野菜づくりを行うことで、地域との交流を図りながら収穫し、調理して食べることの喜びを感じる取組みを行った。 ・ 園行事では、お泊り保育（もりのいえ）、プラネタリウム見学、環境ミュージアム、いのちのたび博物館見学、トロッコ列車の体験乗車、車いすバスケットボールの観戦など、社会見学を豊富に行っている。 ・ ごみ拾いを年2回実施するほか、ペットボトルキャップやプルタブ等の回収を保護者や卒園児等に呼びかけたり、日常的な節水・節電意識を持つよう導くなど、エコ活動にも取り組んでいる。また、「ていたん」を来所させる機会を設けることで、子どもたちのエコに対する関心が深まり、その結果、積極的なエコ活動につながった。 					
月平均利用児童数 (人)	【参考】H27年度(更新前)	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
実績	120	115	120	123	123
(定員：120人)					

各行事の実施状況(回)	【参考】H27年度(更新前)	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
園行事	27	27	27	23	25
地域活動	14	16	17	15	13
計	41	43	44	38	38

- ② 利用促進を目的としている施設ではないため、該当なし。
 ③ 該当なし。
 ④ 施設の性質上、保育所入所等については行政で決定するため、該当なし。

(2) 利用者の満足度

- ① 利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。
 ② 利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。
 ③ 利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。
 ④ 利用者への情報提供が十分になされたか。
 ⑤ その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。

1 5 5 1 5

【評価の理由、要因・原因分析】

① 利用者の満足度

・保育内容についての利用者の満足度を問うアンケートでは、すべての項目の平均で97.8%という結果であり、保護者の満足度は高い。

項目(単位%)	【参考】H27年度(更新前)	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	平均
子どもの様子	100.0	100.0	100.0	100.0	99.3	99.8
情報提供	98.6	98.9	98.7	99.3	99.6	99.1
保育所の状況	98.6	95.8	92.3	95.2	98.1	95.3
安全管理、事故防止の取組み	95.0	95.5	97.6	98.5	97.1	97.1
全体平均	97.9	97.4	96.9	98.1	98.8	97.8

※平均値については、各項目の全設問の平均値を算出したもの。

② 利用者意見への対応、③苦情への対応 ④ 情報提供

クラスだよりや食育だより、個人懇談会、保育参観などにより、園の保育内容を保護者へ伝えるだけでなく、地域に向けて、「ほいくしよだより」を発行するなど、積極的な情報提供を行っている。また、行事の後などにアンケートを実施し、集計結果を保護者に提供するなど、保護者との共通理解及び改善に努めている。

2 効率性の向上等に関する取組み

3 0 1 8

(1) 経費の低減等

3 0 3 1 8

① 施設の管理運営（指定管理業務）に関し、経費を効率的に低減するための十分な取り組みがなされ、その効果があったか。								
② 清掃、警備、設備の保守点検などの業務について指定管理者から再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。								
③ 経費の効果的・効率的な執行がなされたか。								
[評価の理由、要因・原因分析]								
① 経費低減の取組み								
冷暖房の使用に当たっては温度調整の実施を徹底し、電灯は細めに消すなど節電に努めている。								
指定管理料（単位 千円）	【参考】H27年度（更新前）	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度			
予算	11,069	11,188	11,188	11,188	11,188			
決算	10,088	10,491	10,384	10,332	7,393			
※特別保育事業にかかる費用は除く。								
② 再委託の経費								
・清掃、設備の保守点検業務など受託者において履行できない部分については再委託を行っているが、複数の業者の見積もりを徴するなど、経費節減が図られている。								
(2) 収入の増加								
① 収入を増加するための具体的な取り組みがなされ、その効果があったか。						-	-	-
[評価の理由、要因・原因分析]								
施設の性質上、施設の性質上、保育所への入所等については行政が決定し、保育料は国が定めた単価をもとに市が決定しているため、評価の対象としない。								
3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み				20	12			
(1) 施設の管理運営（指定管理業務）の実施状況								
① 施設の管理運営（指定管理業務）にあたる人員の配置が合理的であったか。						10	3	6
② 職員の資質・能力向上を図る取り組みがなされたか（管理コストの水準、研修内容など）。								
③ 地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。								
[評価の理由、要因・原因分析]								
① 人員配置								
配置基準に基づき、必要な保育士が配置されている。								
② 職員の資質向上								
・キャリアアップ研修や通常研修に参加した職員の報告等を通して、子ども達や保護者との関わり方を再確認し、保育所保育指針に沿った保育の見直しを行った。								

- ・外部研修に一人でも多く参加するよう奨励している。また、職場内研修では、保護者支援・安全対策・救命処置など様々な分野の研修を行い、職員一人一人の意識やスキル向上を図っている。

③ 地域協働

- ・市民センターや地域のお祭りに積極的に参加するとともに、平成25年度から継続している小学校との連携については、事前に交流内容について打ち合わせを行い、保育所からの要望や子どもたちの現在の状況等を共有することで、互いに有意義な交流が図れ、更なる交流促進につなげている。
- ・高齢者と地域の行事に参加したり、市民センターや保育所での未就園児交流を行ったり、幅広い世代交流をもつように努めている。
- ・赴任してきた市民センター職員に「一日保育士」を体験してもらい、保育所内での子どもたちの様子を見てもらうとともに、地域全体で子どもたちを見守る認識の共有を行った。
- ・JR 陣原駅に地域の方が用意してくださった笹を使って七夕の飾り付けを行うなど、地域全体で子どもたちの温もりが感じられるような、地元を巻き込んだ取組みを実施した。

(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など

① 施設の利用者の個人情報保護のための対策が適切に実施されているか。	10	3	6
② 利用者を限定しない施設の場合、利用者が平等に利用できるよう配慮されていたか。			
③ 利用者が限定される施設の場合、利用者の選定が公平で適切に行われていたか。			
④ 施設の管理運営（指定管理業務）に係る収支の内容に不適切な点はないか。			
⑤ 日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。			
⑥ 防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。			
⑦ 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか。			

[評価の理由、要因・原因分析]

① 個人情報の保護

個人情報の保護・管理については、法人が策定している「安全安心マニュアル」をもとに、職員に周知徹底を行っており、守秘義務については、就労規則にも規定している。

② 平等利用、③公平選定

入所児童の選定は行政が法に基づいて行うため、適切である。

④ 収支状況

収支内容に不適切な点は認められない。

⑤ 安全対策、⑥ 危機管理体制、⑦ 非常時の対応

- ・不審者侵入訓練、市民センターとの合同防災訓練（消火、通報、避難誘導等）を行うなど、子どもの安全確保に努めている。
- ・感染症が発生した場合、症状や潜伏期間、取るべき対応などを保護者に情報提供し、感染拡大の抑制に努めている。

- ・年齢別に事故防止チェックリストを作成し、事故予防に努めている。
- ・緊急時において保育士が連携して迅速に対応できるよう、保育士の人数に応じた役割のマニュアルを作成している。

【総合評価】

合計得点	73	評価ランク	B
<p>これまでの保育所運営に基づく知識や経験を生かした保育を行っている。</p> <p>外部研修に一人でも多くの保育士を参加させるとともに、職場内研修においても食育や救命処置等、幅広い分野の研修を設けて知識の習得に取り組んでいる。</p> <p>また、地域にむけて「ほいくしょだより」を発行したり、小学校や地域行事にも積極的に参加しており、小学生からお年寄りまで幅広い年代の人との交流の場を設けることで、地域に根差した保育所運営を心掛けている。</p>			

[北九州市指定管理の評価に関する検討会議における意見]

- ・より適切な評価を行うために、アンケート結果を反映した改善策の部分や、「大変満足」と「満足」の比率で評価を行うなど、今後に向けて検討して頂きたい。
- ・平等利用や公平選定については、指定管理者の努力部分について評価を行うなど、今後に向けて検討して頂きたい。
- ・人材確保で努力や工夫している部分なども評価を行うなど、今後に向けて検討して頂きたい。